

サークル紹介

手話を学んで

豊かに生きよう！

「春日部手話サークル」



昭和50年7月、春日部市主催の第一回入門手話講習会が開催され、終了後の11月に手話サークルが結成されました。「手話を学ぶことを通じて聴覚障がい者と健聴者の交流を深め、さらに一般社会に手話を広め、聴覚障がい者の福祉向上を図る」ことを目的に活動をしています。見た目だけではわからない障がいは理解されにくい、見えない障がいでもあります。

例会は昼（木曜日10時～13時）
ミニミニセンター、夜（金曜日19時～21時）あしすと春日部部で行われ、聴覚障がい者の方から手話の技術だ

けではなく、交流しながら様々な事を学んでいます。

常に春日部市聴力障害者協会と歩んでいます。合同行事として新年会・納涼会・旅行・講演会開催や毎年藤まつりやふれあい広場には手作り品・家庭でいらなくなった不要品を持ち寄り出店しています。ボランティアフェスティバルでは、手話指導や手話の歌を実施しています。

何年教えてもらっても手話の上達は難しいということもありますが、同じ春日部住民同士、まさに「ともに歩む」精神が続いています。なぜか人生は手話中心、手話抜きでは考えられなくなってしまう人がほとんどです。

常時見学大歓迎！初心者大歓迎！です。



楽しく生きよう！

「やぐら絵画クラブ」



「やぐら絵画クラブ」は、内牧地区公民館で毎月第3土曜日の午後活動しています。現在の会員数は12名で内訳は男性3名、女性9名です。

クラブは平成15年に公民館主催の絵画教室に参加した人たちがそのまま自主的に結成したもので、平成16年4月の絵画クラブ開催が第1回目而现在に至っています。会員は学ぶことに熱心で各種活動への出席率は非常に良いそうです。会長は2代目の新井進さん、指導は会田志津男さんです。

全くの初心者から始めた絵画なの

で手取り足取り教わり、ちょっとした作品の作成を2、3か月に1作程度を完成させていたそうです。13年後の現在は、写真の内牧文化祭時のように大作に挑戦している会員も多いうことで、春日部市美術展覧会にも出品する会員も出ています。発足10周年には写生旅行を実施し、以後毎年実施しています。その他の活動として暑気払い・忘年会等の懇親会、春秋の写生会、地域の文化祭、地域とのふれあい、また県外を含め各種展覧会の見学等多彩です。

会の理念は「個性の尊重」。面倒見の良い会長、優しい指導者のもと、ますます楽しく生きがいのある活動を目指しています。なお、現在新しい仲間も歓迎しています。

